

横浜市議員 山崎 誠

ヨコハマ市政レポート 青葉生活30+《プラス》

批判から提案の政治へ。

2007年4月の統一地方選挙において、皆さまのおかげをもちまして横浜市議員2期目の当選を果たすことができました。

選挙においてマニフェストとしてお示した「青葉生活30+《プラス》～青葉区30万市民による街づくり30の提案」をベースに、さらに充実した提案、政策を加え、政策提案中心の政治を実践するとともに、中田市政が推進する「創造的改革」を応援してまいります。

本「ヨコハマ市政レポート」はタイトルを「青葉生活30+《プラス》」に刷新、また7月末には事務所を移転に伴い、市民の皆さまにより一層親しみやすい多様な事務所、「あおばフレンズ」へとリニューアルオープンいたします。ご期待ください。

横浜市議員 山崎 誠



3分間でわかる 山崎誠の「ヨコハマ市のここがポイント！」

本レポートでお伝えしたいポイントをチャート式でまとめました。詳細は2、3ページをお読みください。

市民の求める公共施設をどうやって作る？！

雨水調整池(遊水池)上部を有効活用した公共施設建設を提案します！



民間 活用が進む民間の遊水池。団地の立体駐車場が建設されています。



市営 美しが丘の雨水調整池。ビオトープ化されていますが、放置された状況です。

近況報告

平成19年度第2回市会定例会
が5月15日から29日までの15日
間の日程で開催されました。
選挙後、初めての議会であるこ
とから、議会の人事、体制作り
からスタートする議会となりました。

私、山崎誠は、常任委員会は
「都市経営・行政運営調整
委員会」の委員、特別委員
会は「生活安全・危機管理・
消防・情報化社会特別委員
会」の副委員長を拝命しまし
た。

「都市経営・行政運営調整委
員会」は、横浜市の市政運営全
般を審査する重要な委員会にな
ります。横浜市の市政改革に向
けて積極的に発言してまいりま
す。

また、特別委員会について
は、前年に引き続き危機管理・
IT分野を担当することになりま
した。専門を活かして中身のあ
る議論を展開してまいります。

山崎誠のプロフィール

1962年生まれ。都立西高校、上
智大学法学部法律学科卒業、青
山学院大学国際政治経済学研究
科国際ビジネス専攻修士課程修
了。(株)熊谷組、日揮(株)勤務。
アルジェリア、オランダ等での
海外勤務を含め国内外の企業の
業務改革プロジェクト、事業計
画立案にコンサルタントとして
参画。青葉区桂台で、妻、一男
一女と暮らす。趣味は自転車、
音楽鑑賞(クラシック、ジャ
ズ、ポップス等)、トロンポー
ン演奏、絵画、写真など。
2006年3月の横浜市議員補欠
選挙に初当選、2007年4月の統
一地方選挙にて2期目の当選を果
たし、市民に開かれた政治を
モットーに活動中。

市民の求める公共施設をどうやって作る？！ 雨水調整池(遊水池)上部を有効活用した公共 施設建設を提案します！

市街化が進む横浜市にあって、公共施設の建設でまず問題になるのは用地の確保です。そこで、横浜市が管理する雨水調整池(遊水池)が青葉区内には48箇所ありますが、その有効利用を提案します。民間が管理する雨水調整池については、その上に人工地盤を構築して、商業施設、駐車施設、マンションなどの用地として活用しています。一方、横浜市が管理する雨水調整池については、都市公園、ビオトープとして利用しているものもいくつか見られますが、まだまだ活用の余地があります。(活用状況については表2参照)

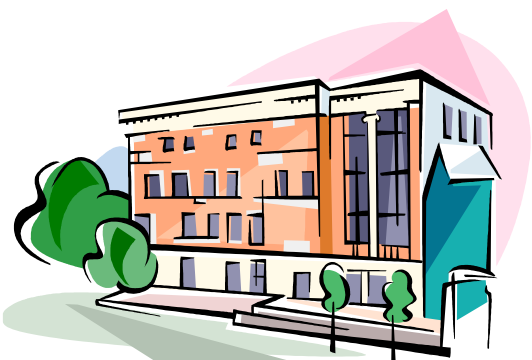
管理部局であります環境創造局 水・緑管理課にヒアリングしたところ、上部の活用が難しい理由として、雨水調整池上に人工地盤を構築すると本来の雨水調整機能が損なわれる、雨水調整池に蓋をしてしまうとメンテナンスが難しくなる、緑被率が低下している横浜市にあっては雨水調整池も重要な緑である、などの点を挙げました。

この点に関して、民間の雨水調整池の活用事例について検討しました。その結果、については、人工地盤のための躯体(人工地盤のための基礎や鉄骨など)の体積は、雨水調整池の貯水限界の水面を数センチ上げるだけでカバーできること。については、民間では底面をコンクリートで覆い、適切な勾配をとることで堆積物を一箇所に集め、小型のバケットでくみ上げるやり方で十分メンテナンス可能であり、コストもかからないことなど、当局の理由付けに対しては、技術的にクリアすることができるものであることがわかりました。また、の緑被率については、確かに重要な点ですが、施設を建設しても屋上緑化、壁面緑化などの技術を活用すれば、その減少を抑えることができると考えます。

さらに調べると、特例として、港南区の野庭地域ケアプラザ、野庭地区センターについては雨水調整池の上部を活用して建設しており、横浜市でもその気になればできることを証明する良い例といえます。

今後、地域で要望の高い施設(例えば市民図書館)の建設について、雨水調整池上の有効利用も視野に入れて検討を加えてゆきたいと思います。

皆さまのお近くの雨水調整池(遊水池)が、どのように活用されたら良いとお考えになりますか?有効利用についてのアイデアを募集いたします。山崎誠政策研究所へお持ちください。



青葉区の美しが丘雨水調整池の人工地盤化について、実際に設計してみました。(以下の図面はその断面図) 広さ882㎡の遊水池に対して人工地盤のコストは民間であれば5000万円程度、雨水調整機能については貯水限界の水面を2cm上げることでカバーできるとの計算結果を得ました。

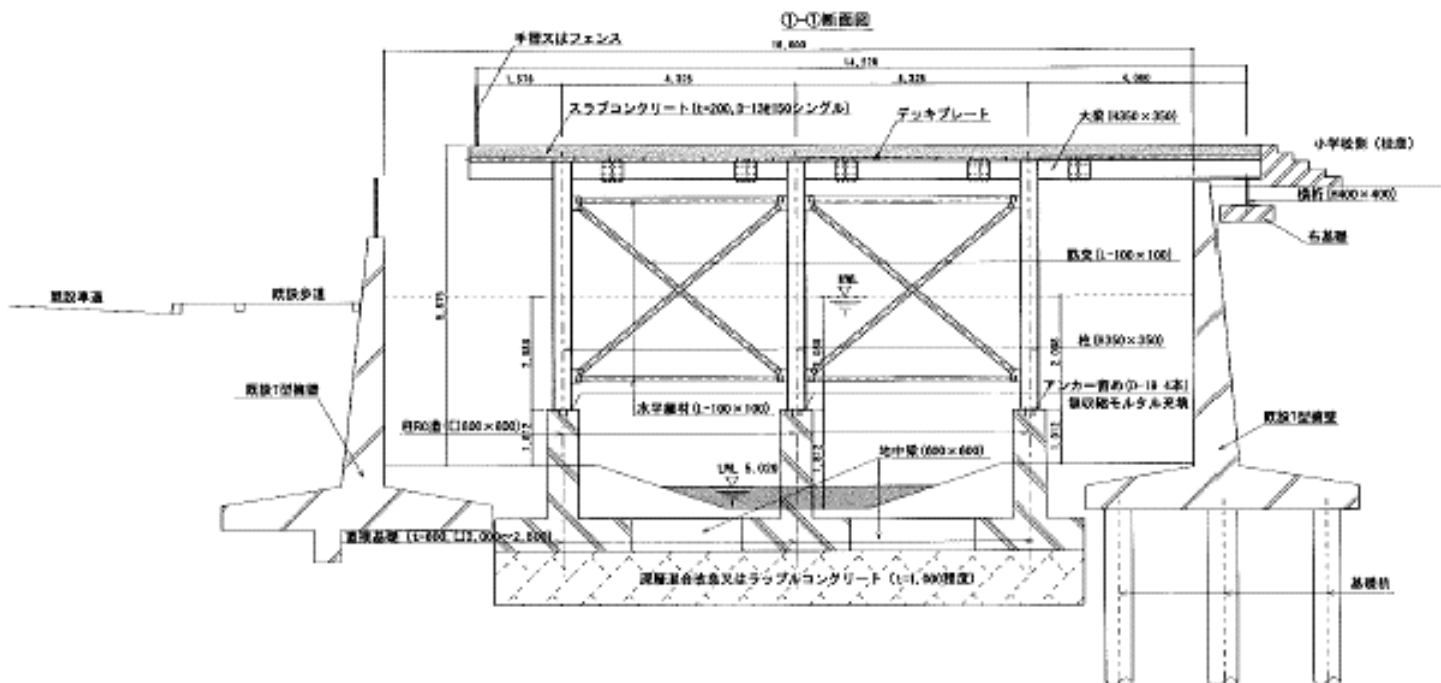


表1 横浜市環境創造局の説明と反論

横浜市環境創造局の説明 雨水調整池を活用「できない理由」	民間事例に基づく分析結果、反論
雨水調整池上に人工地盤を構築すると本来の雨水調整機能が損なわれる	正確に計算すると、人工地盤の構造物の雨水調整機能への影響は小さい。貯水限界の水面を数センチ上げることで必要容積を確保できる
雨水調整池に蓋をしてしまうとメンテナンスが難しくなる	底面を調整コンクリートで勾配をつけて処理することで、メンテナンスを効率的に行うことができる
緑被率が低下している横浜市にあっては遊水池も重要な緑である	建設する施設に対して屋上緑化、壁面緑化などの技術で緑を増やす工夫をすることで緑の減少を押さえることができる
人工地盤構築にコストがかかりすぎる	土地を購入することを想定するなら、その4分の1以下のコストで構築できる

表2 青葉区の雨水調整池の利用状況 (2007年2月14日受領の資料より)

利用状況	箇所数
ピオトープ (池または都市公園)	19
都市公園	7
利用なし	22
合計	48

*ピオトープとは：
自然に近づくよう工夫した池などを中心に、野生の草花が生い茂り、トンボなどたくさんの昆虫、メダカなどが生息する自然環境を復元した空間のことです。その代表的な例を横浜では「トンボ池」と呼んでいます。

7 / 29 (日) 事務所の移転・リニューアルのお知らせ 市民の皆さまとの真の「協働」、開かれた政治をめざして

しらとり台にて「MMコミュニティあおば」として市民の皆さまに開かれたサロンを目指し運営してまいりました山崎誠事務所ですが、これまで以上にお役に立つスペースとなるよう、新しいコンセプトにもとづく多彩な事務所「あおばフレンズ」へと、場所を青葉台1丁目に移しリニューアルします。

新しい山崎誠事務所「あおばフレンズ」は、皆さまが気軽に立ち寄り活用できる小箱カフェと、横浜市の様々な課題について皆さまとともに研究を進める研究機関（山崎誠政策研究所）の2つの顔を持つオフィスとなります。

小箱カフェ かのん

市民の皆さまの趣味の手作り作品の発表、販売などに活用いただく小箱ショップ（注）をオープンします。より道、おしゃべり、交流の場として小さなカフェもご利用ください。またこれまで通り、小規模な会合、教室等で利用いただける会議室兼ギャラリーをご用意、写真展、絵画展、パネル展なども引き続き企画してまいります。

山崎誠政策研究所

山崎誠が公約としてお約束しています政策提案「青葉生活30+」の各項目のほか、街の様々な課題について、市民の皆さん一人一人に研究員となって調査研究を進めていただくことを目標とします。皆さまとの意見交換、アンケート調査、他都市の事例研究、ブレイクストーミングなどを定期的、継続的に実施し、具体的な横浜市への提案に繋げてまいります。お預かりしています政務調査費を有効に活用して、皆さんのアイデアを活かした新しい街づくりを研究、提案します。

小箱ショップとは：小箱（ボックス型スペース）をお貸しし、趣味の作品の発表、展示、販売に活用いただくものです。スペースを自由に活かし、情報発信と趣味のネットワーク拡大などに役立っていただけます。小箱オーナーを募集しますので、ご興味のある方はぜひご一報ください。

「あおばフレンズ」というネーミングについて：たまプラーザ商店街にて市民活動の場を提供している多目的スペース「あおばフレンズ」と姉妹提携関係を結びました。街の活性化、市民主導の街づくりへ、たまプラーザと青葉台を結び拠点として活動します。

新事務所開きのお知らせ

リニューアルオープンパーティーを下記の通り開催いたします。ぜひお気軽にお立ち寄りください。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

日時：7月29日（日）
12：00より

場所：新事務所
「あおばフレンズ」

会費：1000円
軽食をご用意いたします

出席のご連絡をいただけますと幸いです。ただし、突然のご参加も大歓迎！

新事務所（7月29日より）

青葉台駅より北へ徒歩7分
環状4号沿い ファミリーマート2F
ガラス張りの明るいオフィスです

【住所】
〒227-0062 青葉区青葉台1-24-1
電興ビル2F（1Fファミリーマート横の階段をお上がりください）

【TEL】045-577-0500

【FAX】045-577-0525

【E-mail】
yamazaki-makoto@s01.itscom.net

【ホームページ】
<http://makoto5050.net>

市民参加の政治を目指して新しい事務所を開設します。

山崎誠事務所「あおばフレンズ」

小箱カフェ「かのん」

小箱ショップ、カフェサロン、ギャラリー、教室スペース、地域情報センター

山崎誠政策研究所

民間・市民のアイデアをベースに新しい街づくり提案を研究・発信します。